



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

東

上場会社名 株式会社クエスト

上場取引所

コード番号 2332

URL <https://www.quest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 鎌田 智

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 小泉 裕 (TEL) 050-3785-3965

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,711	7.5	212	△3.4	224	△4.7	141	△7.4
2026年3月期第1四半期	4,383	22.4	220	△3.7	235	△5.0	152	△5.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 150百万円(8.0%) 2026年3月期第1四半期 139百万円(△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	27.63	—
2026年3月期第1四半期	28.56	—

※ EBITDA 2027年3月期第1四半期: 2億76百万円 2026年3月期第1四半期: 2億85百万円

EBITDAマージン 2027年3月期第1四半期: 5.9% 2026年3月期第1四半期: 6.5%

上記の算式は、添付資料P2「経営成績等の概況 (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況」を参照

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	10,107	7,311	72.3	1,426.03
2026年3月期	10,356	7,458	72.0	1,454.74

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,311百万円 2026年3月期 7,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	61.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	18,300	2.8	1,260	15.4	1,285	11.5	856	6.9	166.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ―社（社名）、除外 ―社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	5,487,768株	2026年3月期	5,487,768株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	360,817株	2026年3月期	360,741株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,127,014株	2026年3月期1Q	5,354,666株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やAI・半導体関連需要の拡大、堅調な設備投資を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の影響によるエネルギー・原材料価格の上昇や継続する物価上昇、金融市場の変動など先行きの不確実性も高く、慎重な見方が必要な状況が続いています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、顧客企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT関連投資への意欲が引き続き高く、既存システムの刷新やクラウド化に加え、生成AI、AIエージェント、フィジカルAI等の先進技術の実用化・高度化が進展しています。さらに、企業等におけるサイバー攻撃被害の増加を背景にセキュリティ対策強化へのニーズが急速に拡大しています。

このような事業環境のもと、当社は中長期ビジョン「Quest Vision2030」(※1)の実現に向け、基盤の強化と着実な成長を念頭に活動を展開しました。

当第1四半期においては、事業ブランドとして「Unite」を新たに立ち上げ、その中核ソリューションである「AI Studio」(※2)の提供とセキュリティ分野におけるサービスラインアップの拡充を進め、ソリューションサービスの強化を推し進めています。

また、Quest Vision2030の目標を確実に達成すべく、これまで取り組んできているタスクフォース活動を発展させ、次期中期経営計画も視野に入れた具体的な施策の検討を進めています。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同期比7.5%増の47億11百万円となりました。これは重点強化領域(※3)の製造分野顧客におけるIT運用保守領域のアウトソーシングビジネスの拡大、社会課題解決領域(※3)の公共・社会分野顧客における新規案件受注の拡大などによるものです。

営業利益は2億12百万円(前年同期比3.4%減)、経常利益は2億24百万円(同4.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億41百万円(同7.4%減)となりました。従業員の処遇改善や採用強化により費用が増加したことに加え、収益性向上施策の成果を得るのに想定より時間を要していることから、前年同期を下回る結果となりました。

参考値として、当第1四半期連結累計期間におけるEBITDA(※4)は2億76百万円、EBITDAマージン(※5)は5.9%となりました。また、前第1四半期連結累計期間のEBITDAは2億85百万円、EBITDAマージンは6.5%でした。

※1. Quest Vision2030：当社のウェブページをご参照ください。

<https://www.quest.co.jp/corporate/ir-info/quest-vision-2030.html>

2. AI Studio：生成AI活用支援サービスとして2026年5月より提供開始

https://www.quest.co.jp/data-engineering/ai_studio.html

3. 顧客産業に基づく区分・定義は以下のとおり。

重点強化領域：半導体分野、製造分野

安定成長領域：金融分野、情報通信分野、エンタテインメント分野

社会課題解決領域：公共・社会分野、移動・物流分野、ヘルスケア・メディカル分野

4. EBITDA：税金等調整前四半期純利益＋支払利息＋減価償却費＋顧客関連資産償却費＋のれん償却費

5. EBITDAマージン：EBITDA÷売上高

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

＜資産＞

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は101億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少しました。これは流動資産のその他が41百万円増加した一方で、現金及び預金が3億4百万円減少したことによるものです。

＜負債＞

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は27億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少しました。これは流動負債のその他が4億16百万円、固定負債のその他が71百万円増加した一方で、賞与引当金が4億22百万円、未払法人税等が2億円減少したこと等によるものです。

＜純資産＞

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は73億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が11百万円増加した一方で、利益剰余金が1億55百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表した連結業績予想から修正は行っていない。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,057	2,752
受取手形、売掛金及び契約資産	4,031	4,040
仕掛品	22	37
その他	253	295
流動資産合計	7,364	7,126
固定資産		
有形固定資産	247	240
無形固定資産		
顧客関連資産	378	368
のれん	411	383
その他	47	46
無形固定資産合計	838	798
投資その他の資産		
投資有価証券	556	573
退職給付に係る資産	1,017	1,017
その他	331	350
投資その他の資産合計	1,905	1,942
固定資産合計	2,991	2,980
資産合計	10,356	10,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	653	664
未払法人税等	233	32
契約負債	96	114
賞与引当金	802	379
プロジェクト損失引当金	—	3
その他	655	1,071
流動負債合計	2,440	2,266
固定負債		
退職給付に係る負債	251	251
役員退職慰労引当金	16	16
資産除去債務	15	15
その他	174	246
固定負債合計	457	530
負債合計	2,898	2,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	491	491
資本剰余金	629	629
利益剰余金	6,379	6,223
自己株式	△451	△451
株主資本合計	7,047	6,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	276
退職給付に係る調整累計額	145	142
その他の包括利益累計額合計	410	419
純資産合計	7,458	7,311
負債純資産合計	10,356	10,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,383	4,711
売上原価	3,609	3,873
売上総利益	774	837
販売費及び一般管理費	553	625
営業利益	220	212
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
助成金収入	4	0
その他	0	0
営業外収益合計	16	11
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	235	224
税金等調整前四半期純利益	235	224
法人税、住民税及び事業税	10	8
法人税等調整額	71	73
法人税等合計	82	82
四半期純利益	152	141
親会社株主に帰属する四半期純利益	152	141

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	152	141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	11
退職給付に係る調整額	△0	△3
その他の包括利益合計	△13	8
四半期包括利益	139	150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（顧客関連資産及びのれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、顧客関連資産償却費及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	10百万円	13百万円
顧客関連資産償却費	10	10
のれん償却額	28	28